

あなたのキモチ 伝えること、から。

12月4日～10日
人権週間



人権・男女共同参画推進室
☎ 63-7909

「あなたのことが大切」「あなたのことが好き」「いつもありがとう」「あの時はごめんね」——。普段は照れくさくて言えないことや、伝えきれていないような気持ちはありませんか。「人権尊重」というと難しく感じるかもしれませんが、まずは、身近な人のことを思い、温かく気持ちのこもった言葉を贈ることを大切にしたいものです。

市では、「あなたの大切な人へ……～140文字で綴るあなたからのファンレター～」をテーマに、身近にいる大切な人に向けての人権メッセージを、8月から10月にかけて募集。2度目となる今年度は、高校生を中心に、思いのこもった782通ものメッセージをお寄せいただきました。今号は、その中から入選したメッセージをご紹介します。

「父親」へ

仕事でいつも疲れているのに私の相談や話を聞いてくれてありがとう。思いつめてしまったときに相談ののって来てアドバイスをくれるから私はとても感謝しています。いつも明るく頑張っているのは父の言葉があったからです。これからも父からもらった言葉を大事にして頑張っていきたいです。

高校2年生

「お母さん」へ

シングルマザーとして子ども3人をひとりで支えてくれているお母さん。いつも3人のために一生懸命働いて、疲れてるはずなのに笑顔をやさしく私たちに接してくれてそんなあなたに私はいろんな面で助けられ支えられてきました。そんな私ももう高校生。もう大丈夫、次は私があなたを支えていく番です。

「家族」へ

母子家庭でしかも、病気もあって自分のことだけでも大変なのに僕をここまで育ててくれてありがとうございます。母さんはいつもごめんねと言うけれど僕は母さんのところに生まれてきて幸せです。もう僕も高校生です。あたりまえのことあたりまえにできるそんな人になれるようにします。みててください。

高校1年生

あなたの大切な人へ……

～140文字で綴る あなたからのファンレター～

「お母さん」へ

いつもありがとう。家を出て、柔道をするために下宿した私にとって、心の支えはいつもお母さんでした。けがで手術をして入院した時、遠い病院まで毎日来てくれたよね。お母さんがそばにいてくれることがなよりの痛み止めでした。これから立派な理学療法士になって、たくさん親孝行します。だいすき。

高校3年生

「医療現場の方々」へ

先日、父が緊急ドクターヘリに運ばれた際パニック状態でどう動いたら良いのか分からなかった私達に優しく声をかけてくださいありがとうございました。そして、父の命を救ってくださいありがとうございました。あれから父はすごく元気です。次は私が誰かの命を救う医療現場の人になります。

高校1年生

市

役所前の市民広場に、肩車をした親子や、ソーソーで遊ぶ幼児など5体の石造彫刻があるのをご存じですか。作者である彫刻家の河合隆三氏がこのモニュメントに込めたのは、「住民やその市が発展するには、まず小さい単位、つまり、親子・家族・子ども同士の和・兄弟愛・動物との交流、いたわりが大切。このことをいつまでも忘れないまちであり、人々であってほしい」という願い。新型コロナウイルス感染の収束が見通せずに、不安が心をよぎる毎日が続いています。家庭や学校、職場、地域などで、身近な人への思いやりの心を忘れないでいたいです。

COLUMN
コラム



人権週間記念番組 ～ケーブルテレビ ads チャンネル～

ユーモアコンサルタント矢野宗宏さんによる講演&落語

「2020人権週間によせて いっしょに笑おう 考えよう」

12月の毎週月曜日午後8～9時、毎週土曜日午後6～7時

人権作品展【図画・ポスター・標語・メッセージ】

12月10日(金)まで、市役所1階ロビーで、市内小・中学生、高校・高専生、一般の作品を展示しています。

【表彰作品の特別展示(やなせ宿中蔵)】日時 12月11日(金)～18日(金) 午前9時～午後5時(月曜休館。11日は午前11時～)

第1回目となる昨年度の人権メッセージ入賞作品は市ホームページでご覧いただけます。

